



ふるさと鳥取に感謝！ いい修学旅行になりました

24,25日、6年生が1泊2日の修学旅行に行ってきました。例年の広島ではなく県内での行程でしたが、値打ちのある2日間になったと思います。

大山口列車空襲慰霊碑の前で、平和の尊さ、平和の有り難さを心に刻みました。ふるさと鳥取の素晴らしい自然を再確認しました。見学地や宿舎で、私達のために心のこもった仕事をしてくださった方々と出会いました。そして、旅行中、仲間と共に学び、共に楽しみ、わがままな気持ちをおさえ、まわりの人のことを考えながら行動しました。

話を聞く時の姿勢、時間を意識した行動、班員への声かけ、食後の片付けの場面などでの協力性、バス乗降時の運転手さんガイドさんへのあいさつ、出会った方に親切にさせていただいた時の「ありがとうございます」の一言、・・・立派だなあと思う場面が数多くありました。きまりのよい修学旅行をみんなで作った3小学校の6年生達。本当によく頑張りました。

私達の到着を待ち、慰霊碑前で千羽鶴を受け取ってくださった「大山口列車空襲被災者の会」の皆様、見学地や宿舎のスタッフの皆様、星についての貴重なお話をしてくださった久保さん、浦富海岸の地形について解説しながら遊覧船を運航してくださった船長さん、山陰ジオパークについて丁寧な説明をしてくださった安藤専門員さん、安心安全な旅行を実現させてくださった日本交通旅行社の皆様、そして、子ども達を元気に送り出してくださった保護者の皆様。私達の修学旅行のためにご尽力いただいたすべての皆様に感謝いたします。おかげさまで、いい修学旅行になりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



大山口駅列車空襲被災地に建立された慰霊碑

第二次世界大戦末期の1945年7月28日、満員状態の列車への空襲により多数の死傷者が出たそうです。慰霊碑には76年前のこの不幸な事件で亡くなられた方々のお名前が刻まれていました。千羽鶴を奉納し、黙とうを捧げました。



水木しげるロード・森の国 大山フィールドアスレチック

水木しげるロードでは予定より20分延長して2時間の班別行動。記念館の見学や、妖怪の道の散策、お土産の買い物に笑顔がたくさん。森の国では昼食を含めて2時間半、美しい緑に囲まれた大地で思いっきり楽しみました。



宿舎「休暇村 奥大山」

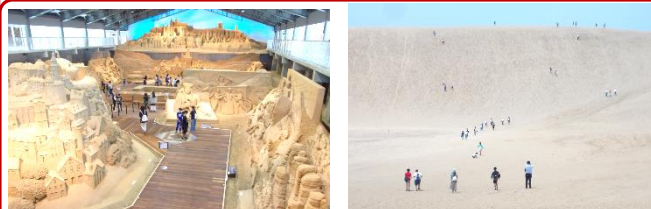
感染防止対策も含め、宿舎の方々には大変お世話になりました。食事もお面せずいただきました。午後8時から星の観察は、あいにくの雨でできませんでした。「奥大山の水」のCM撮影で宇多田ヒカルさんのガイド役をされた久保昌之さんに、1時間、天の川銀河や太陽系についてのスケールの大きなお話を聞きました。



遊覧船から見た浦富海岸

山陰ジオパーク 海と大地の自然館

山陰海岸の中で最も美しい景観を持つと言われる浦富海岸。その変化に富んだ絶景を船上から眺めました。感動のひとつでした。海と大地の自然館では3D映像を見たり説明を聞いたりして、山陰ジオパークの地質から分かる日本海の成り立ちや山陰海岸の生きものの特徴などについて学びました。メモを取りながらしっかりと聞く姿が立派でした。



砂の美術館・鳥取砂丘

美術館では、17名の世界トップクラスの砂像彫刻家が制作した壮大で緻密な作品に魅了されました。砂丘センターでの昼食後、リフトで移動して砂丘に到着。砂の上を果敢に歩いて馬の背を登り切り、さらに海岸まで降りた子がたくさんいました。広大な砂丘を元気に往復した子ども達。たいしたもんです。



(ひとりごと) 中学校担任時代、京阪神での修学旅行を6度引率しました。その行程の中で一番大切にしていたのは、京都での「1日班別行動」です。この6年生達にも3年後にぜひ経験させたい取り組みです。コロナの終息を願うばかりです。